

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870201328
法人名	社会福祉法人 大島福祉会
事業所名	グループホーム あしよかの里
所在地	今治市吉海町仁江262-1
自己評価作成日	H26年1月16日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年1月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入所者の方1人1人の人格を尊重し、本人が持っている力を大事にしながらそれぞれの役割を持って、自分らしく日常生活が送れるように支援しています。積極的にボランティアの方の受け入れをし、入所者の方の日々の楽しみをたくさん作りたくと考えています。又地域の行事にも積極的に参加し、地域の方との絆を深めたいと思っています。食事作りや買い物、その他色々な家事を入所者の方と共同作業でしています。入所者の方が主体の自立支援を目指して頑張っています。入所者の方の役割作りや生きがい作りの支援を行いながら、職員も入所者も共に生き生きと楽しく暮らしたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

島内にはバラ園や梅の名所があったり、近くには桜や藤の花が楽しめる場所があり、季節の花見のドライブを利用者は楽しみにされている。お正月には、近くのお寺にお参りに行かれた。散歩したり、職員と車でコンビニにおやつを買いに行ったり、近くのお寺にお参りに行くこともある。
職員から「他のグループホームを見たい」との声があったことから、去年は、職員自身で、「行ってみたい事業所」に直接依頼して、一日見学できるよう取り組まれた。この取り組みから、食事中BGMを流すことや、洗濯物かごをつくり、個々でたたむことができるよう支援されたり、ご自分のお膳を下膳できるよう、支援すること等を採り入れられた。
夜間、居室内でポータブルトイレを使用される方から「暗い」という訴えがあり、足元にセンサーライトを置くようにされた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム あしよかの里

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

村上五鈴

評価完了日

26年 1月 16日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 「地域との絆を深め、笑顔あふれる自由で尊厳ある暮らし」を 理念に掲げ、利用者の方主体の自由で楽しい暮らしを実現 したいと考えています。毎朝申し送りの後、理念を唱和し仕 事を始めます。	
			(外部評価) 毎月職員が2名ずつ順番で理念を踏まえた「毎月の目標」を 決めて、理念の実践に取り組まれている。今月は「笑顔と元 気で新しいスタートを」と目標を掲げておられ、利用者の笑 顔を引き出せるよう、職員自身が笑顔で接することに心がけ 取り組まれている。理念と、「毎月の目標」は、居間の壁に掲 示されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 地域の行事への参加やボランティアの受け入れを積極的に 行い、地域の方との交流を図っている。外出した際には、地 域の方が気軽に声をかけて下さる。	
			(外部評価) 絵手紙や習字、御詠歌に落語等、地域のボランティアの方 達の訪問がある。利用者の誕生会には、民舞のボランティア が来て踊りを披露してくださっている。福祉体験学習の一環 で小・中学生の訪問があり、子ども達は、利用者とボール投 げや風船バレー等をして過ごされる。小学校の運動会時 には、テント席を準備してくださっており、利用者は力のこも った応援をされるようだ。お寺の住職にお願いして、定期的 に法話を聴く機会をつくっておられる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 毎年、小学校の体験学習、中学校のボランティア学習の受 け入れを行っている。新たに介護職員初任者研修における 実習生の受け入れを行いました。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議を2ヶ月毎に開催し、運営状況や行事予定の報告、あしよかの里便りの発行をしている。会には毎回の様に入所者の方も参加し、皆さんの元気な様子を見て頂く。運営推進会議で出た意見については、全職員で話し合いを行いサービス向上に努めている。</p> <p>(外部評価) 会議には、利用者やご家族、民生委員の方が参加されており、時には、近所の方やボランティアの方が参加されている。すべてのご家族へ会議の案内を出しておられ、多い時には6名ほどの参加があるようだ。会議では、事業所の運営状況や活動状況の報告をして、意見交換をされている。11月の会議では、ご家族が事業所での誕生会の様子を録画したDVDを持参してくださり、鑑賞された。今後は、区長の方等にも会議へ参加していただけるよう、働きかけたいと考えておられた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営等について、気軽に相談をし協力をお願いしている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、地域包括支援センターのサブセンターが町内にあることから、その役割等について説明していただいたこともある。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 研修会で学習し職員間で常に話し合いを行い、身体拘束のないケアに取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 調査訪問時、自宅に帰りたい気持ちの強い利用者の方が何度も玄関横の事務所を出入りされたが、職員はその都度ゆっくりお話を聞き、対応しておられた。普段は、自宅前までドライブがてら車で出かけると落ち着かれるようだ。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会で学習し職員間で常に話し合いを行い、虐待防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会で勉強しているが、活用する機会はあまりない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 色々な場面で話を聞き説明をして、理解していただけるように努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者や家族の意見、要望は日常生活の会話や面会時又電話等で聞き職員間で話し合いを行い、運営に反映させている。 (外部評価) 2ヶ月に一度、利用者の日常や外出時の様子・表情がわかる写真を載せて、ご家族に向けて「あしよかの里便り」を発行しておられる。又、年2回、利用者個々の担当職員がご本人の暮らしぶり等を手紙にしてお送りしている。ご家族の訪問時には、できるだけ担当職員がご家族とコミュニケーションをとるようにされており、信頼関係ができ、ご家族の安心につながっている。スプリンクラー設置やそれに伴う家賃の値上げ等、運営に関することについては、アンケートを取ったり話し合いの場を設ける等して、ご家族に理解や協力をいただけるよう取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月2回ミーティングを行い、積極的に意見交換をし実践に努めている。	
			(外部評価) 職員から「他のグループホームを見たい」との声があったことから、昨年は、職員自身で、「行ってみたい事業所」に直接依頼して、一日見学できるよう取り組まれた。この取り組みから、食事中BGMを流すことや、洗濯物かごをつくり、個々でたたむことができるよう支援されたり、ご自分のお膳を下膳できるよう、支援すること等を取り入れられた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 個人面接を実施し、職員個々の悩みや要望等を聞く機会を設けている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 地域密着型サービス協会の研修会には全職員が参加し、毎月のミーティングで研修報告を行っている。又相互研修にも毎年参加している。四国フォーラムにも出来るだけ参加しており、その他良い研修があれば、希望者が参加するようにしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 相互研修に参加し、他ホームの職員の意見を聞きサービスの質の向上に取り組んでいる。毎年他の事業所でのマンドリンコンサートに出掛けていて、情報交換も行っている。又施設見学をして交流を深めている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用前に利用者にとって話しをしたり、ホームを見学してもらおう等して少しでも不安をなくすように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前訪問したり、ホームを見学してもらう等して家族の話を時間をかけて聞く様にしている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族のニーズに応じる様に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 人生の先輩とし尊重し、色々な事を教えて頂き支え合う関係を築いている。	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の方の日々の様子を知っていただく為、運営推進会議の時に発行しているお便りや運営状況報告書、会議録を家族の方全員に渡している。運営推進会議に入所者の方、家族の方にも出席をお願いしている。面会にも出来るだけ来て頂く様にし、夏祭りや誕生会にも参加をお願いしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 地域のミニデーサービスや特養の行事、又地域の色々な行事にも積極的に参加し交流の機会を持つようにしている。又家族や知人等多くの方の面会をお願いしている。交代で職員と買い物にも行っている。 (外部評価) すべての利用者が島内からの利用であり、毎年、島四国へんろ市では2ヶ所の札所へお参りをすることが恒例になっている。町内ごとの夏祭りや敬老会等に参加した時は、顔見知りの方が「よう来たねえ」と声をかけてくださるような場面も見られる。事業所では、今後、利用者それぞれの自宅のある地区のサロンに参加できるよう、支援したいと話しておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) テーブルの座席を工夫している。皆さんが協力して洗濯物たたみ、掃除、調理等が楽しく出来るように支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他施設に入所しても家族の相談に応じて、支援を行っている。又本人にも行事等への参加の声かけをしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話の中から本人の希望や意向の把握に努めている。 (外部評価) 事業所では「気持ちシート」をつくり、職員は、日常の中で気づいたことや利用者の言葉等を書き留め、利用者の思いや意向等の把握に努めておられる。現在は、新たにセンター方式のアセスメント様式を使って、利用者の情報を集めているところである。	今後は、ご家族の協力を得て、利用者のお若い頃の写真を持ってきていただき、利用者から以前の暮らしぶり等について、聞かせてもらいたいと考えておられる。事業所の理念に沿った支援が実践できるよう、アセスメントの充実に取り組み、ご本人主体の介護計画の作成につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前訪問で本人、家族から一応詳しく話を聞くが、入所後も本人、家族との会話から情報の把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの状況を把握し、その人の能力が発揮出来るように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護計画の作成は本人、家族の要望を聞き職員間で話し合いをした後、全職員が各担当者の介護計画を計画作成担当者の指導を受け作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>3ヶ月毎にモニタリングを行い、介護計画の見直しにつなげておられる。利用者個々に担当職員を決めて、ご本人とご家族から暮らし方等の希望をお聞きし、「ご本人の気になることや変化」等についての支援を話し合い、計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>業務日誌や介護記録、個別ノート等で情報を共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>かかりつけ医への受診援助や希望時の外出援助等、柔軟に対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>色々なボランティアの方々の訪問を受けたり、地域の行事には積極的に参加して楽しい暮らしの支援をしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 入所者全員、嘱託医がかかりつけ医となっているが問題は全くない。毎週往診があり、必要時はいつでも連絡が取れる体制が出来ている。</p> <p>(外部評価) 週に1度、協力医の往診があり、利用者全員診ていただいている。利用者の体調等で気になることがある時には、まず協力医に相談して、指示を仰ぐようになっている。緊急時等、24時間の対応が可能である。歯科も島内の歯科医院が往診して下さる。島外より、皮膚科の医師が定期的に往診して下さっていたが、昨年10月に終了となった。島外の医療機関を受診する際は、基本的にご家族に付き添っていただいている。昨年、事業所内で感染性胃腸炎が発生したことから、1日一回、床・手すり等も次亜塩素酸ナトリウム溶液で拭いて、感染予防に努めておられる。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 協力医療機関や特養の看護職員と連携を取り健康管理の支援を行っている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 医療機関と連携をとり、退院に向けての相談をしている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 看取りの経験はないが、協力医療機関との連携を密にし、家族と話し合いをしながら対応して行きたいと考えている。</p> <p>(外部評価) 事業所では、これまで「看取り支援は難しい」と考えておられたが、ご家族の「最期までここで」という希望もあり、ご家族と協力しながら看取り支援につなげていこうとされている。一度ご本人に最期の希望をお聞きした時「そんなこと考えたことがない」と話されたようだ。ご家族が泊まれるように、ベッドや布団等も用意された。現在は、「自立歩行ができなくなると車椅子」を利用するようになり、「歩行困難になった人」は退居の条件になっている。</p>	<p>ご家族には「最期までお願いしたいが、職員が大変ではないか」と思われている方もおられるようだ。終末期の支援については、ご家族と話し合ったり、一緒に勉強する機会等も作り、利用者が最期まで自分らしく過ごせるような支援をすすめていかれてほしい。管理者は「一例でも看取りを支援することで経験になり、今後についても前向きに考えていけるかもしれない」と話しておられた。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 研修会で学習し職員間で勉強はしているが、定期的な訓練は行っていない。応急処置を現場で生かす為、応急手当で講習会を受講する。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は定期的に行っているが、地震、水害時の避難方法や地域の協力体制については、今後きちんとした話し合いが必要である。スプリンクラーを設置する。	
			(外部評価) 年2回、隣接する法人の特別養護老人ホームと合同で、昼・夜間を想定した避難訓練を実施されている。又、災害はいつ起こるか分からないという考えのもと、裏口から避難する訓練を毎月、利用者全員参加で行われており、現在、裏口からスロープまでの段差の解消を課題に挙げておられる。今後は、地域の消防団にも訓練に参加していただきたいと考えておられた。昨年12月にスプリンクラーを設置された。地震や津波等については、事業所が高台に位置することから「事業所で待機」するようになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとりの尊厳の保持を重視して日常生活を支援している。受容と共感の心を大切にしている。	
			(外部評価) 利用者、職員に同じ苗字の方が多く、名前で呼ぶ方が多いようだ。これまでニックネームや ちゃん等の呼び方をすることもあったようだが、職員で話し合い、 さんと呼ぶように申し合わされた。職員は、利用者の立場に立ち考えることに心がけておられ、タイミング等も見ながら声かけることにも気を付けておられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人の要望を出来るだけ聞くようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の都合を優先する事が多いが、出来るだけ本人の希望 も大切にしながら支援を行っている。徐々に入所者主体の 自立支援をしていきたい。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 定期的な散髪や外出時はもちろん、毎日の洋服選び等の支 援を行っている。お化粧品をして出掛けることもあります。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) テーブルを拭いたり煮干の頭や腹わたを取ったり、お茶の葉 をパックに入れたり食材を切ったり、食器を拭いたり等出来る 事は入所者の方がして下さる。下膳もお願いしている。調理 や食器洗いは、職員と一緒に、職員も一緒に食事をして 楽しんでいる。 (外部評価) 献立は、職員が一週間ごとに交代で立てるようになってい る。利用者は、お寿司や魚料理を好まれる方が多く、職員 は、旬の食材を使って利用者の好まれるメニューを採り入れ るよう工夫されている。時にはホットプレートで焼きそばやお 好み焼き等を作ることもある。食材は、魚介類は魚屋から新 鮮なものが届くようになっており、他の食材は、毎日職員と利 用者で買出しに行かれている。普段は、利用者は野菜を 切ったり、ご自分のお膳を下げる等されている。以前は、ひと りの職員だけが利用者と同じ物を食べていたが、現在は、職 員皆が利用者と一緒に同じ食事を食べるようにされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスを考えて献立を作り、食事量、水分量を記録し ている。毎月体重測定を行っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後歯磨きの声掛けをし、一人ひとりに応じた介助を行っ ている。毎晩、義歯洗浄も行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) トイレ誘導を行い、出来るだけ失禁のないように支援している。又排便コントロールが上手くいくよう支援を行っている。</p> <p>(外部評価) 尿意を訴えられない方は、時間を決めてトイレ誘導して、ほとんどトイレで排尿することができている。便意を訴えられない方も、「立とうとする」等、仕草を見逃さず、トイレ誘導することでトイレでの排便ができている。夜間、居室内でポータブルトイレを使用される方から「暗い」という訴えがあり、足元にセンサーライトを置くようにされた。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 繊維の多い食材を考え水分補給を心掛けている。リハビリ体操やレクリエーションをして出来るだけ体を動かすようにしている。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 入所者の方の希望を聞いたり、職員間で話し合いをした結果、午前入浴にしている。体調やその日の気分を考えながら支援しているが、個々に応じた支援は難しい。</p> <p>(外部評価) 一日おきに入浴できるよう支援されており、毎日4、5名の方が順番に入浴するようになっている。入浴がお好きな利用者がほとんどであるが、日によっては気が向かないこともあり、職員はタイミングをみて声かけて支援されており、入浴後は「気持ちよかった」と喜ばれるようだ。職員と話をしながらゆっくり湯船に浸かることを楽しみに入浴する方もいる。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりの生活習慣を大切に、自由に休息をとれるように支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方内容をまとめていて必要時は確認をしているが、薬の副作用等について理解は十分出来ていない。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 掃除や洗濯ものを干したりたたんだり、調理等出来る家事を毎日の日課として行っている。買い物、散歩、ドライブ等外出の機会を出来るだけ多く作り、楽しみ作りの支援をしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日は、散歩やドライブ等外出する機会を作っている。又自宅への外出、外泊等している。	
			(外部評価) 島内にはバラ園や梅の名所があったり、近くの島には桜や藤の花が楽しめる場所があり、季節の花見のドライブを利用者は楽しみにされている。お正月には、近くの神社に初詣に行かれた。散歩したり、職員と車でコンビニにおやつを買ったり、近くのお寺にお参りに行くこともある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望で所持している人もいるが、色々問題があるので他の人は職員が管理を行っている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) いつでも自由に電話が出来る様になっている。年賀状は毎年全員が書いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居間からは外の景色や菜園が見えるので外を眺めながら自然に親しみ季節感を楽しむ事が出来る。季節の花を飾ったり、日差しが強い時期には日よけネットを利用して光を和らげたりしている。毎朝、掃除をする時換気を行っている。騒音をたてないようにし、温度調節も細めに行う等の気配りを心掛けている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間は、日当たりがよく、庭の畑が見える。白菜やブロッコリー等が育っていた。事業所は高台に位置しており、山々の景色や眼下には、車が行き交う様子等を眺めることができる。居間等の壁には、利用者の習字や絵手紙の作品を飾っておられた。調査訪問時、音楽が流れ歌詞カードを見ながら「せんせい」や「人生いろいろ」等、利用者が職員と一緒に歌っている様子が見られた。昼食後は、居間の一角の畳コーナーに腰掛けたり、畳の上で正座をしておしゃべりをする方もおられた。調査訪問日は、お誕生日の方がおられ、おやつの中には、皆で「ハッピーバースデートゥーユー」の歌を歌い、お祝いをされていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居間には畳みがありそこで洗濯物をたたんだり楽しく会話をしたりしている。楽しく過ごせるようにテーブルの座席を考えている。必要時は、テーブルの配置を変え座席も考える。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居室にはテレビやタンス、その他好みの物を置いてある。位牌を置いている方やいつも好きな花を飾っている方もいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>各居室には、洗面台が設置されており、棚には、ブラシや化粧水等が置かれてあった。テレビやラジオを持ち込まれている方や机で毎日日記を書く方もおられる。お花の好きな方のご家族は、定期的にお花を飾ってくださる。鉢植えの花もあり、ご本人が水やり等されている。ご家族と一緒に写っている写真を貼ったり、ひ孫さんが書いた習字の作品を額に入れて飾ってある方もおられた。ベッドやタンスの他は何もない居室もあり、その人らしく居心地よく過ごせる居室作りをしてみしてほしい。又、時計やカレンダー等、見当識に働きかけるような工夫等も検討されてはどうか。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレや浴室、居室は分かり易い表示をしている。混乱や失敗が生じた時は、優しい言葉掛けを心掛けている。</p>	